

### 3. 学習内容報告書\_呼子小学校3（5年）

学校名	唐津市立呼子小学校
授業者	酒井 裕介

#### 1. 単元計画

##### 1-1. 単元名

ふるさと呼子の海を守ろう

##### 1-2. 学年

5年

##### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

##### 1-4. 単元の概要

キャランビーチの漂着ごみの清掃活動を通して、児童に身近な呼子の海が汚れている現状に目を向け、「呼子の海をきれいにしたい」という思いを持って、海岸の清掃、漂着物の調査を行い、調べたことを整理した。さらに、SDGs についての学習やカサゴの稚魚放流、海洋ゴミについての講話とワークショップなどの取り組みを行うことで、呼子の海をきれいにするために自分たちに何ができるかをより具体的に考えさせることができた。

上記の学習をもとにして、自分は呼子の海をどのような海にしたいか、そのためにどのようなことをすればよいか、ということを考えてまとめたことを発表する「意見発表会」を行った。また、この学習を社会科「水産業の盛んな地域」や「わたしたちの生活と環境」の単元とも関連付けることができた。

##### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

呼子小の児童にとって、海はとても身近なものである。しかし、海的环境については考えたことがなく、海のごみが自分たちの生活にどのような影響を与えるのかまではわかっていない。そこで、海洋ごみに着目して、海には、大量のごみが漂流していて、それが海に住む生き物に被害をもたらし、人間にも影響を与えることに気付かる。そして、呼子の海を守るために自分たちに何ができるかを考え、行動させることで、児童が地域を誇りに思い、大切にしようとする意識を高めることができると考える。

##### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

- (1) 身近な海的环境について調べたい事柄を見つけたり、追究したい課題を設定したりする力。【知識・技能】
- (2) 学習を通して得た情報から、呼子の海を守るために自分たちに何ができるかを考え、それを他者へ伝える方法を考える力。【思考力・判断力・表現力】
- (3) 身近な海的环境に関心を持ち、進んで学習に取り組み、積極的に発信しようとする力。

【主体的に学習に取り組む態度】

1-7. 単元の展開（全20時間）

時数	学習活動・主な内容	・教師の指導 / 主な評価 ○外部連携 / 使用教材等
4	<p>呼子町のゴミの現状を知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャランコビーチの漂流ゴミ清掃</li> <li>・漂流ゴミの分別</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャランコビーチのゴミ拾いをする事で、漂流ゴミの多さや外国から流れてくるゴミがあることを知り、呼子の漂流ゴミの現状を知る。</li> <li>・ゴミの仕分けをすることで、漂流ゴミの多くはペットボトルなどのプラスチックゴミであることを知る。さらにマイクロプラスチックが砂浜に多くあることにも気付かせる。</li> </ul>
2	<p>SDGsについて知ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsについてインターネットや本を使って調べることにより、漂流ゴミが世界中で問題になっていることを知り、プラスチックゴミを減らす必要があることに気付かせる。</li> </ul>
5	<p>海洋ゴミについての講話・ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手裏剣づくり</li> <li>・カードゲーム「CHANGE FOR THE BLUE」を使ってゴミについて考えよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・唐津 FARM&amp;FOOD の方を講師として招き、海洋ゴミについてさらに詳しく学び、海洋ゴミの一部であるペットボトルキャップを使った手裏剣づくりを行う。さらに「CHANGE FOR THE BLUE」というカードゲームを行い、ゲームを通して呼子の町からゴミを減らすには、自分たちに何ができるのかを考えさせる。</li> </ul> <p>○唐津 FARM&amp;FOOD から2名</p>
3	<p>カサゴの稚魚放流</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業協同組合の協力のもと、自分たちで魚を放流することで、呼子の海への関心をさらに高め、魚が育ちやすい環境にするために自分たちに何ができるかを考えさせる。</li> </ul> <p>○漁業協同組合から1名</p>
6	<p>学んだことをまとめて、発信しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで調べてきたことの中から、自分が最も伝えたいことを選び、グループを編成する。</li> <li>・だれに伝えたいかを考え、相手に合ったまとめ方（伝え方）を話し合っ決めていく。</li> <li>・自分たちが決めた方法で模造紙にまとめていく。さらに調べたいことがあるときは、インターネット、インタビュー、手紙、クラスの友達の振り返り等、これまでに学んだ手法を用いて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋教育についてこれまでに行ってきたことや学んだことをこれまでの振り返りを使って確認する。</li> <li>・様々な伝える方法があることに、他教科の学習やこれまでの取組を想起させて気づかせる。</li> <li>・プレゼンテーションソフトを使って伝える。</li> <li>・模造紙で新聞を使って伝える。</li> <li>・学んだことを動画にして伝える。など</li> </ul>

<p>調べ直す。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・意見発表会を行う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・これまでの学習のふり返りの中で書いている課題意識をもとに、提案内容を考えさせる。</li><li>・それぞれのグループでまとめたことを発表させる。 まとめたことを伝えたい人へ送る。</li></ul> <p>☆伝えたい相手</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・保護者</li><li>・唐津 FARM&amp;FOOD (小嶋さん・濱口さん)</li><li>・漁業協同組合 (服巻さん)</li></ul>
---	--

## 2. 学習活動の実際

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

### 2-2. 本時の目標

「CHANGE FOR THE BLUE」というカードゲームを通して、呼子の町のゴミを減らすために何ができるのかを考える。

### 2-3. 本時の展開 ( …評価、●達成不十分な児童への手立て)

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1 本時の学習内容の確認</p> <p>2 講師の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>唐津 FARM&amp;FOOD の小嶋さん・濱口さん</li> </ul> <p>3 講話</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漂流ゴミの現状 (世界中) についての話</li> <li>SDG s についての話</li> <li>漂流ゴミを減らすために活動している人たちの話</li> <li>カードゲームの説明</li> </ul> <p>4 本時のめあての確認</p>	<p>○海についてこれまで学習してきたことを写真を使って提示したり、児童のふり返りを引用したりすることで、学習して分かったことだけでなく、感じたことや考えたこと等も想起できるようにする。</p> <p>○海洋ゴミ (ペットボトルキャップ) を使って手裏剣づくりをした際にお世話をしていただいた唐津 FARM&amp;FOOD の方に今回も授業をしていただくことを伝える。</p> <p>○漂流ゴミについての問題は、呼子だけでなく世界中で問題になっていることを知る。</p> <p>○「CHANGE FOR THE BLUE」を行うことで、町全体のゴミを減らすために自分たちに何ができるかを考えることができることを伝える。</p>
<p>5 カードゲーム「CHANGE FOR THE BLUE」を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クラス全員が農家や漁師、役場など 1 2 の役割を担う。</li> <li>それぞれの仕事カードと生活カードの中から、どんな行動を選択するのかチームで話し合い、全員で海洋ゴミを減らすためにプロジェクトを実行する。</li> <li>ゲームの結果を受けて、何が良かったかを話し合う。</li> </ul>	<p>○ゲーム体験を通じて「海の環境を良くするための行動はどれか」「自分たちが選んだ行動が海の環境にどう影響するのか」などを考えることで、日常生活に「海洋ゴミを減らす行動」を取り入れるきっかけとする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【思考力・判断力・表現力】</b></p> <p>B 呼子町のゴミを減らすために何ができるかを友達と話し合ってみようとしている。</p> <p>● カードゲームをヒントに呼子町のために何ができるかを考えるよう促す。</p> </div>

カードゲーム「CHANGE FOR THE BLUE」を通して、呼子町のゴミを減らすために自分たちにできることを考えよう

<p>6 本時の学習を振り返る。</p>	<p>○「ふり返りのポイント」を提示し、本時のふり返りを記述させる。</p> <div data-bbox="815 264 1476 472" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;ふり返りのポイント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習で考えることができたこと。</li> <li>・友達のよかったところ、なるほどと思った考え。</li> <li>・次の時間に取り組みたいこと。</li> </ul> </div>
<p>7 次時への見通しを持つ。</p>	<p>○数名の児童にふり返りを紹介させ、本時の学習の価値づけを行い、次時の活動への意欲を喚起させる。</p>

### 3. 今回の活動の自己評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・カードゲームを通して、5年生の子どもたち自身も呼子の漂流ゴミを減らすために、何をすればよいか具体的に考えることができた。</li> <li>・カードゲームの中で、自分たちが環境のためになると思って行動したことが、町民のゴミに対する意識が低いと効果がないことがわかった。町民意識を高めるためにも、5年生が取り組んでいることをもっと呼子町の人たちに知ってもらう必要があると感じた。</li> <li>・今回の活動を通して、漂流ゴミに対する関心が高まり、呼子町だけでなく、波戸岬など他の町であっても漂流ゴミで困っているところはきれいにしたいという想いを持つ児童が現れ、ボランティアに参加したいと考える児童が増えた。</li> <li>・初めての学習内容を単元化することについて、当初の見通しと授業実践が違ってきたことがいくつもあったが、このような中で試行錯誤を繰り返したことで、地域の教育資源を新たに発掘することもできた。</li> </ul>
---

### 4. 今後の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋教育に取り組むことは4月から決まっていたが、これまでになかった新しい単元が入ってきたということで、ねらいや目的意識が十分定まらず、具体的にどのような取り組みを行うかや、どのような方をゲストティーチャーに来ていただくにより効果があるかわからないままスタートしてしまったため、取り掛かりが遅くなってしまった。来年度は、今年度取り組んだことをもとに、単元のねらいを定めて、それに効果的な取り組みを行えるよう計画を事前に立てておきたいと思う。</li> <li>・今年度は、手探りでの活動になってしまったため、計画的に進めることができていないところがあった。来年度は、新たなゲストティーチャーの発掘や島の学校や近隣の学校との交流なども計画的に入れることで、漂流ゴミだけでなく、海に関する学びの幅を広げていきたいと考えている。</li> <li>・学びの発信相手が、学校内、保護者、関係者ととどまっていたため、地域など発信の範囲を広げたいと考えている。特に、5年生は、学習した内容を大牟田子どもサミットに参加して、発表したいと考えている。</li> </ul>
---

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

<p>特になし</p>
-------------